

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	流山市立児童デイつばさ			
○保護者評価実施期間	令和6年10月15日 ～ 令和6年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	令和6年10月15日 ～ 令和6年11月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	63人	(回答者数)	60人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	市の施設であり、児童発達支援センターとして、関係機関と連携をとりながら総合的な支援を行うことができる。	相談支援専門員・心理士等・保育士・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の多職種と連携を図り支援を行っている。	専門職を含めたケーススタディ検討の充実を図ることで、よりこどもや家庭環境等への多面的・総合的な支援を目指す。
2	子育て支援やインクルーシブ推進の役割を担っている。	・並行通園先の保育園や幼稚園、医療機関等との情報共有を行いながら、適切な支援を目指す。	・利用児のニーズに合った支援が受けられるよう、必要に応じて見学や会議を行い、環境設定やこどもの関わり方について助言を行う。
3	在宅または幼稚園や保育園などに通うこどもに対し日数支援を行い、集団をとおして全体的な発達を促す。(医療的ケア児を含む) ※お弁当持参、バス送迎あり。 対象：おおむね1～5歳児(就学前)	クラス制。先生や友達と一緒に安心できる環境で、基礎運動とあやし・ゆさぶり遊びを支援の柱として、その他様々な経験をおとし、全体的な発達を促す。	・障害特性を踏まえたクラス設定をし、発達上のニーズに合わせた支援を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設環境について。	・複合施設であるため、セキュリティに弱さがある。 ・事業所内の支援室について、空き部屋が無く、保護者の待機部屋がない。	・他課と協議をしながら、セキュリティについて留意していく。 ・児童デイの事務所を整備し、待機場所を用意する。
2	保護者との支援内容の共有について。	・単独通園児においては、バス送迎を利用しているため、こどもへの対応や接し方について、保護者と職員が共有する機会が少ない。	・保護者が支援の様子を見学したり、参加したりしながら保護者と共有できる機会をつくる。
3			